

2025年度夏季手当要求に関する 地本青年部支社長要請行動を行う！！

地本青年部は、6月9日13時30分より「2025年度夏季手当要求に関する支社長要請行動」を行いました。

残念ながら関西支社長は所用の為欠席でしたが、要請書を読み上げ支社総務部長に手渡した後、地本青年部三役（各支部青年部長である地本青年部副部長）と共に関西支社幹部と議論を交わしました。

要請項目は主に下記の6項目について行い、各職場で働く青年部員の切実な要求として支社幹部に訴えました。

- ・2025年度夏季手当「(基準内賃金) × 2.9ヵ月」の満額回答
- ・新規採用の継続実施
- ・地元採用を増やし、広域転勤の早期解消及び帰省旅費の条件緩和
- ・新幹線通勤の条件緩和
- ・職場や社宅・トイレ等の老朽設備、女性設備の早期改修・増築
- ・駅新入社員の教育指導者を指導係以上とすること
- ・人事制度修正時の基準額に到達した場合10分の1の見直し

以上のことを支社幹部側に訴え、2025年度夏季手当での要求項目の実施を本社へ強く上申することを要請しました。

これに対して支社幹部は↓

地本青年部からの要請に対し、支社幹部は、「現在のJR貨物の収入は2025年度対計画を割っており厳しい状況である。備蓄米輸送をはじめ収入を上げるため取り組んでいる。会社としては今年度単体で黒字が出せるよう体力をつけていきたい。地本青年部より強い要請があったことを含めて、あらためて2.9ヵ月を本社へ上申する。」と見解を述べられた。

青年部長より現在の交渉状況を伝えながら「現場では広域転勤、少ない給料を理由に多くの若年退職が発生している。食料品の値上げも高騰しており、今回の夏季手当は生活給としての要素が一層強くなっているため満額回答を本社に強く上申して頂きたい。」と強調しました。

諸要求として、要請項目の7項目と、各支部から出された職場の問題、改善要求など1時間に及ぶ支社幹部への要請行動を行いました。

最後に、関西地本青年部と関西支社の総意として「2025年度夏季手当及び諸要求」を支社長から本社に内容通り上申することを確認し、要請行動を終了しました。

12日は回答指定日！！

会社に対し、満額回答させるためFAX行動に皆の意思をぶつけよう！！

青年部員の皆さん！実質賃金は下がる中、物価高騰で私たちの日々の生活が圧迫されています。夏季手当満額回答は生活のために必要であることを会社に訴え、本部の折衝・交渉を職場から力強く後押ししようではありませんか！！

12日の回答指定日まで職場から全青年部員参加の取り組みをよろしくお願いします。